

平成 26 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「自閉症を知ろう・感じよう・考えよう」事業
事業主体 (連絡先)	自閉症を知ろう・感じよう・考えよう実行委員会 090-4725-1789
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	728,340円 (うち支援金: 460,000円)

事業内容

- ・学習会 映画鑑賞とワークショップ
8月30日 えんぱーく多目的ホール
11月22日 えんぱーく多目的ホール
参加者合計名 (実行委員を除く)
- ・シンポジウム 実践報告とパネル
2月14日 えんぱー多目的ホール
参加者合計約80名 (実行委員含む)
- ・プレ事業、パネル展
各事業実施前にえんぱーくでの宣伝展示と、
年度末に成果物も合わせてパネル展示



【目標・ねらい】

- ① 多くの市民に自閉症を知ってもらおう
- ② 感覚的理解、共感を深くしてもらおう
- ③ 自分たちにできることを考えてもらおう

事業効果

学習会にもシンポジウムにも、思ったより多くの市民のみなさんにご参加いただくことができ、またアンケート結果からも、理解が深まったとする方、今後こうした催しに参加してみたい方が非常に多かったことが確認できました。

映画を観た後のワークショップでは、映画ならではの感想や、印象的なシーンについての話で、色んな立場での発言で盛り上がりました。

特にシンポジウムに参加いただいた広丘商工会の皆さんからは、今後商店街として何ができるのか、真剣に話し合っていました。

※自己評価 【 A 】

【理由】
多くの市民に自閉症について知ってもらえ、理解と共感を深めてもらえた。シンポジウムでは、自閉症いやさしいまちづくりのために何ができるか、それぞれの立場での発言が多くあった。予定していた以上の事業ができた。

今後の取り組み

ポスターや視察をまとめたパネルの巡回展示を、商業施設や中学校、高校短大、大学に働きかけて実施していきます。特に視察した活動では、高校生がボランティアとしてとても良い関わりができていたので、効果を期待したい。また、広丘商工会や支援機関、施設と協力して、一関でやれているような取り組みを塩尻でも行えるよう、取り敢えず27年度を準備期間として、28年度の実現を目指していきます。

映画は、取り敢えずメンバーの中では特に次の希望が出て来なかったので、ぜひ観てみたい、という映画が出てきた時にまた企画する予定です。